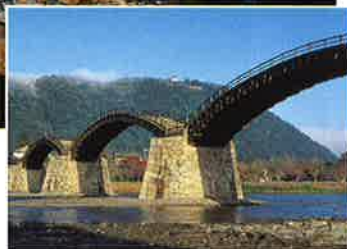


1

 しろやま
 城山から見下ろす岩国のまちなみ（岩国市）


■景観の特徴、地域特性

標高200mの城山から見下ろすと、錦帯橋や吉香公園、蛇行する錦川に囲まれた岩国城下のまちなみだけでなく、遠く瀬戸内海の島々まで望むことができる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

岩国城は、山を包むように流れる錦川を天然の外堀とし、山陽道が一望できる城山の山頂に築かれた（一国一城の令により1615年破却）。現在の岩国城は、城下から天守閣が見える場所に位置を変えて、1962年に再建された。

■景観の見方（主な視点場）

城山から見下ろすと、錦帯橋の周囲には、江戸時代からのまちなみが残されていることがよくわかる。



アクセス

所在地：岩国市横山、城山

- 電車：JR山陽本線岩国駅～バスで約20分（錦帯橋）、
JR山陽新幹線新岩国駅～バスで約10分（錦帯橋）
- 車：山陽自動車道岩国ICから約10分



■景観の特徴、地域特性

高い柱の上に、「鉢」と呼ばれる笠を置いて、その上に刺した長旗をめざして松明を投げ上げて点火・炎上させる。烏田川の中流に隣接する3つの地域で別々に行われることから、「祖生の三本松」と呼ばれる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

周防祖生の柱松は、疫病が広がり、農耕用の牛や馬が数多く死んだのを機に、その慰霊と除災のために始まったと伝えられている。平成元年には国の重要無形民俗文化財に指定された。

■景観の見方（主な視点場）

祖生中村、祖生山田、祖生落合の3つの地域で行われており、地区ごとに祭りの様子を楽しむことができる。



アクセス

- 所在地：岩国市周東町、中村・山田・落合
- 電車：JR岩徳線玖珂駅からバスで約15分
(中村、落合)
 - 車：山陽自動車道玖珂ICから約5分

3

岩国城下町のまちなみ（岩国市）



■ 景観の特徴、地域特性

錦帯橋きんたいきょうのたもと周辺に、かつて岩国七町と呼ばれた町人の町の面影が残っている。碁盤目状の町割りと当時の面影を残す建物が、この地域の特徴である。

■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

錦川を天然の外堀として横山に城を築き、対岸の錦見に中下級武士の武家屋敷や町家が置かれた。この形態は、防衛を主とする町割りで、錦川とその周囲の地形を巧みに利用したものとなっている。

■ 景観の見方（主な視点場）

白壁の商家やベンガラ格子の町家が当時の面影を今に伝える。昔ながらの町名が残る町割りを散策すると歴史的なまちなみを体感できる。



アクセス

所在地：岩国市岩国一丁目

- 電車：JR山陽本線岩国駅～バスで約20分(錦帯橋)、
JR山陽新幹線新岩国駅～バスで約10分(錦帯橋)
- 車：山陽自動車道岩国ICから約10分



カタクリの花

■景観の特徴、地域特性

寂地山は、春の新緑、秋の紅葉をはじめ、カタクリの花やブナの巨木その他多数の高山植物が咲いているのが特徴である。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

寂地山に源を発している寂地川の澄みきった水は、地元住民の飲料水としてはもちろん、岩国市の特産品であるわさびの栽培にも使われている。

■景観の見方（主な視点場）

登山道を歩くと、多くの高山植物を見ることができ、春先には、きれいなカタクリの花を楽しむことができる。

アクセス

所在地：岩国市錦町宇佐、寂地山

●電車：JR山陽本線岩国駅～錦川清流線錦町駅
～バスで約60分（寂地峡入口）

●車：山陽自動車道岩国ICから約80分
中国自動車道六日市ICから約35分





■景観の特徴、地域特性

竜頭の滝は、寂地峡にある「五竜の滝」の一つである。長い年月のあいだに生み出された溪谷の合間をぬって滑り落ちる水の流れが、荘厳な自然景観をつくり出している。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

山口県最高峰の寂地山^{じやくちさん}に源を発する寂地川にある犬戻峡^{いぬもどし}と竜ヶ岳峡^{りゅうがたけ}を総称して寂地峡と呼んでいる。寂地峡には日本の滝百選に指定された「五竜の滝」や「犬戻の滝」など大小様々な滝がある。

■景観の見方（主な視点場）

五竜の滝はそれぞれ異なった表情を持っており、美しい岩肌を眺めながら滑り落ちる水の流れを感じるの心地よい。

アクセス	所在地：岩国市錦町宇佐、寂地峡 ^{にしき うま じやくちきょう}
	●電車：JR山陽本線岩国駅～錦川清流線錦町駅 ～バスで60分（寂地峡入口）
	●車：山陽自動車道岩国ICから約80分 中国自動車道六日市ICから約35分





■景観の特徴、地域特性

標高540mの銭壺山山頂からは、ほぼ360度見渡すことができ、瀬戸内海とそこに浮かぶ島々の眺めが美しい。空気が澄んでいれば四国や九州の国東半島まで見える。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

銭壺山の名前の由来は、昔、平家の落人がこの山に財宝の入った壺を埋めたことから呼ぶようになったといわれている。

■景観の見方（主な視点場）

銭壺山山頂の展望台まで自動車で行くことができる。山頂からの景観を多くの人々が楽しむことができるように駐車場が整備されている。



アクセス

- 所在地：岩国市由宇町、銭壺山山頂付近
- 電車：JR山陽本線由宇駅～車で約25分
 - 車：山陽自動車道玖珂ICから約45分



■景観の特徴、地域特性

羅漢山の標高850mから1,109mの山頂にかけて羅漢高原が広がる。南側斜面には人工スキー場、テニスコートなどの施設の揃ったファミリーリゾートや牛が放牧された牧場などがあり、楽しい時を過ごすことができる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

羅漢山は、県立自然公園として豊かな自然に恵まれている。山頂からは360度の大パノラマが広がり、中国山地の山並みの向こうに瀬戸内海まで望むことができる。

■景観の見方（主な視点場）

澄み切った空気と美しい自然に囲まれたなかで、のんびりと周囲の景観を楽しむことができる。

アクセス

所在地：岩国市本郷町、羅漢高原

- 電車：JR山陽本線岩国駅～錦川清流線錦町駅
～バスで約50分（本郷羅漢）
- 車：山陽自動車道岩国ICから約60分
中国自動車道六日市ICから約40分





■景観の特徴、地域特性

蜂ヶ峯総合公園のバラ園では、5月中旬からの開花時期には、園全体がバラの香りにつつまれる。毎年5月に開催されるローズフェスタでは、バラ園内で「ローズウエディング」が行われる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

蜂ヶ峯総合公園は、昭和54年から整備が進められ、平成元年にはバラ園が整備された。バラ園は1.1haの敷地を有し、140種3,500株が咲き誇る山口県最大級の規模となっている。

■景観の見方（主な視登場）

バラ園中央部から全体を見廻すことができる。また、観覧車の中からも様々な色のバラを見ることができる。



所在地：和木町^{せんだ}瀬田

●電車：JR山陽本線^{せんだ}和木駅～バスで約20分
（蜂ヶ峯総合公園）

●車：山陽自動車道岩国ICから約20分、
大竹ICから約20分

アクセス



■景観の特徴、地域特性

余田臥龍梅は、赤子山北側の段々畑状の斜面に群生している。地域住民からなる余田臥龍梅保存会の20年以上の活動により、毎年2月から3月にかけて見事な花を咲かせている。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

本来の株は枯死し、現在は四方に伸びた枝が地について独立した株となっている。その枝の張りようが、まるで龍の伏す姿に似ていることから「臥龍梅」の名がついた。

■景観の見方（主な視点場）

周囲に遊歩道が整備されており、遊歩道を歩きながら様々な角度から梅を楽しむことができる。

アクセス	所在地：柳井市余田
	●電車：JR山陽本線柳井駅～車で約10分 ●車：山陽自動車道玖珂ICから約20分、 熊毛ICから約25分





写真提供：柳田明さん

■景観の特徴、地域特性

誓光寺山公園から妻入りの家並みや周辺の景観に配慮された街路空間を眺望できる。ここから眺望する家並みの景観は、瓦とか屋根とかいう表現より「^{いらか}藁」という表現が似合う。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

誓光寺山公園は、白壁のまちなみの近くに位置する標高15mの山であり、市民には桜の名所として親しまれている。ここから見下ろす古市・金屋地区は、昭和59年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

■景観の見方（主な視点場）

誓光寺山公園から眺めると、遠くには現代建築が、近くには白壁のまちなみが見える。



アクセス

所在地：柳井市柳井津

- 電車：JR山陽本線柳井駅～徒歩で約5分
- 車：山陽自動車道玖珂ICから約20分、熊毛ICから約25分



■景観の特徴、地域特性

「阿月神明祭」とは、「神明様」と呼ばれる御神体を立て、その下で「神明踊り」「神明太鼓」を奉納した後、御神体に火を点けて燃やす行事であり、阿月地区の人々により守り続けられている祭事である。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

県指定の無形民俗文化財である「阿月神明祭」は、360年以上の伝統を誇る。宮中の行事が民間に伝えられた「とんど」、神明信仰を合わせた「神明祭」及び「小早川氏軍神祭」を合わせた祭事である。

■景観の見方（主な視点場）

毎年2月11日の朝8時から東・西神明宮前の浜辺に、ご神体が一体ずつ起こし立てられる。夜7時以降の火付け～引き倒しの様子を東・西新明宮でそれぞれ見ることができる。



アクセス

所在地：柳井市阿月

- 電車：JR山陽本線柳井駅～バスで約20分(青木)
徒歩で約10分
- 車：山陽自動車道熊毛ICから約50分



■景観の特徴、地域特性

穏やかな瀬戸内海にあって、大島地区と周防大島との間の大島瀬戸では渦潮が発生する。大島大橋の橋脚の間を渦潮を除けながら航行していく客船や釣り舟が行き交い、絵になる景観となっている。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

大島瀬戸は、日本三大潮流のひとつに数えられ、万葉集にも謳われている。大島大橋は、昭和51年に架設された全長1,020mの連続トラス橋である。

■景観の見方（主な視点場）

大島中学校や周辺の高台から見る事ができる。朝陽が昇る時間帯が美しいが、昼間の眺望も美しい。



所在地：柳井市神代

アクセス

●電車：JR山陽本線大島駅～徒歩で約10分

●車：山陽自動車道玖珂ICから約30分

13

柳井ウェルネスパークからの眺望（柳井市）



■景観の特徴、地域特性

柳井ウェルネスパークからは、公園に連続して屋敷林が点在する集落や田畑を見ることができる。遠くにはなだらかな稜線の赤子山^{あかこ}が見え、箱庭的な田園集落の趣をより一層引き立てている。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

柳井ウェルネスパークは、大型複合遊具や天然芝の多目的広場などを有し、手軽に健康活動が行える自然とスポーツの交流拠点として豊かな自然環境の中に整備された。

■景観の見方（主な視点場）

ウェルネスパーク高台^{あざまや}の東屋より南側を見下ろせば、眼下に箱庭的な田園集落を、遠くに山々を眺望できる。

アクセス	所在地：柳井市 ^{しんじょう} 新庄
	●電車：JR山陽本線柳井駅～車で約15分 ●車：山陽自動車道 ^{くまび} 玖珂ICから約20分 熊毛ICから約25分





■景観の特徴、地域特性

柳井の本橋^{もとほし}からサンビームやないまでの区間は白壁のまちなみにふさわしい江戸情緒の通りとして、街路の整備が行われた。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

柳井市のシンボルロードである都市計画道路「柳井駅門の前線」は、地域住民や地元商店街との協働作業により沿道のまちなみと調和のとれた街路として整備され、整備後も景観に配慮された修景や維持管理活動が行われている。

■景観の見方（主な視点場）

シンボルロードの車寄せより北側を眺めると、緩やかに湾曲した街路、洋館建のまちなみ資料館や、白壁のまちなみなど、様々な景観を楽しむことができる。



所在地：柳井市柳井津

- アクセス
- 電車：JR山陽本線柳井駅～徒歩で約5分
 - 車：山陽自動車道玖珂ICから約20分、熊毛ICから約25分



■ 景観の特徴、地域特性

新市地区は、伝統的建造物群保存地区の古市地区よりも後にまちなみが形成された。主な建物としては、この道筋の北側に柳井天満宮があり、道筋両側には古い民家が建ち並んでいる。

■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

「新市筋」は、今から300年前の江戸時代の都市計画として誕生した芸州街道の一部である。橋の上から柳井のまちなみを形づくった街道筋が一直線に見通することができる。

■ 景観の見方（主な視点場）

新市通りの両端から、全長約750mの一直線の道筋を見通することができる。



アクセス

- 所在地：柳井市新市、天神、土手町
- 電車：JR柳井駅～徒歩で約20分
 - 車：山陽自動車道玖珂ICから約20分
熊毛ICから約30分



写真提供者：岸田聡明さん

■景観の特徴、地域特性

柳井市中心部を流れる「柳井川」は、河川公園などが整備され、周辺の古いまちなみと併せ多くの市民に親しまれている。海に近いため潮の干満が見られ、満潮時は水面がかなり上昇するため、夜は川面に写る月を眺めることができる。時期によっては、満月の夜、上空と川面に2つの満月を同時に見ることができる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

柳井川は、江戸時代に干拓により人工的に造られた川である。近年「ふるさとの川整備事業」などにより周辺環境と調和のとれた水辺空間の整備が行われ、「お散歩公園」という名の河川公園もできた。

■景観の見方（主な視点場）

柳井川に架かる本橋^{もとばし}、緑橋^{ほろらいぼし}、宝来橋付近を歩くと、古いまちなみと一体となった水辺空間を楽しむことができる。



アクセス

所在地：柳井市柳井津

- 電車：JR山陽本線柳井駅～徒歩で約5分
- 車：山陽自動車道玖珂ICから約20分、
熊毛ICから約25分



■景観の特徴、地域特性

古市・金屋地区の「白壁のまちなみ」は、柳井市の街のイメージとなっている景観である。江戸時代の商家の家並みが続き、夏の金魚ちょうちん祭りの頃には、金魚ちょうちんがまちなみを彩る。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

藩政時代に岩国藩のお納戸と呼ばれ、賑わった町筋である。昭和59年に国の伝統的建造物群保存地区に選定された。室町時代の町割り^{しゅくかい}がそのまま残り、入母屋型の屋根、白漆喰、土蔵造りの商家の家並みが続く。

■景観の見方（主な視点場）

東西方向全長200mの道筋中央の重要文化財「国森家住宅」付近より東側方向及び西側方向を眺めると、まちの雰囲気を楽しむことができる。



アクセス

所在地：柳井市柳井津

- 電車：JR山陽本線柳井駅～徒歩で約5分
- 車：山陽自動車道玖珂ICから約20分、
熊毛ICから約25分



■景観の特徴、地域特性

「茶臼山古墳」は、標高80mの向山と呼ばれる丘陵に位置し、4世紀末から5世紀初めの築造と推定される前方後円墳である。近づくると古墳表面には無数の石が敷き固められ、更に表面の石の上には、多数の埴輪群（レプリカ）が立ち並んでいる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

この古墳は明治25年地元の人の発見により発掘され、昭和23年に国指定の史跡となった。現在は都市公園として整備され、多くの市民に親しまれている。

■景観の見方（主な視点場）

県内屈指の大きさであり、市街地からも見ることができる。また、古墳からの市街地の眺めも良い。



アクセス

所在地：柳井市柳井

●電車：JR山陽本線柳井港駅～徒歩で約15分

柳井駅～バスで約10分（大屋東）

●車：山陽自動車道玖珂ICから約20分

熊毛ICから約25分



■ 景観の特徴、地域特性

みかん狩りの観光農園は、冬の周防大島町の風景である。みかん狩りをしながら瀬戸内海の景色も楽しめる。緑豊かな山々に囲まれた自然いっぱい農園は、目にまぶしいオレンジ色に彩られる。

■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

周防大島町は、雨が少ない気候や、日当たり・水はけがよい地形から、みかん栽培が盛んに行われている。島内にはいくつもの観光農園が存在する。

■ 景観の見方（主な視点場）

島内には、海と山と空に囲まれた観光農園が各所にあり、みかん狩りを楽しむことができる。

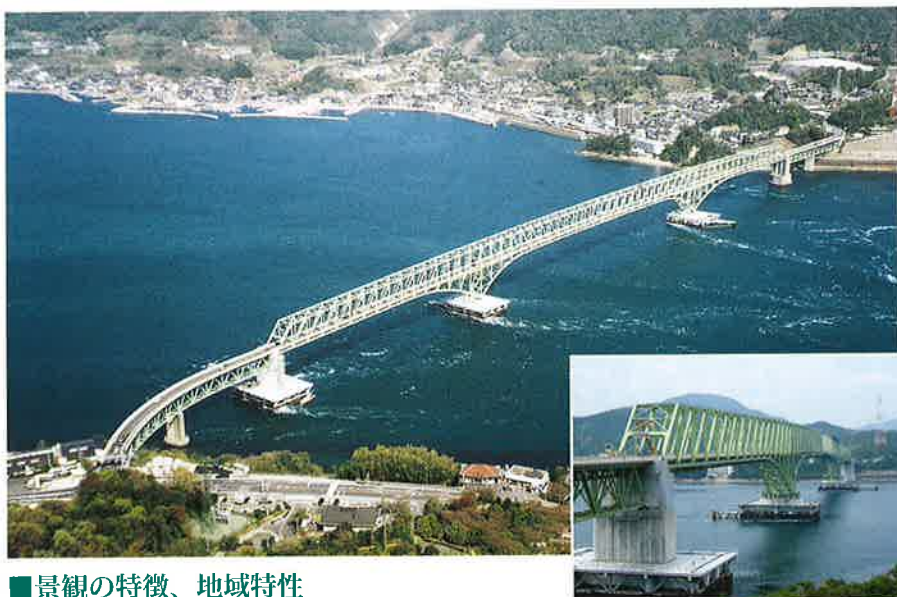


アクセス

所在地：周防大島町 島内各所

● 電車：JR山陽本線大島駅おおほたけ～車で約5分

● 車：山陽自動車道玖珂ICくがから約30分



■景観の特徴、地域特性

大島大橋は、柳井市と周防大島町との間の大島瀬戸に架かる全長1,020mの連続トラス橋である。この橋は、橋脚に受ける潮流の抵抗を避けるため、多柱式基礎を用いている。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

古くから亥の子歌にうたわれるほど、島の人々が待ち望んでいた橋であった。5年の歳月を経て、昭和51年に有料道路として開通し、平成8年に無料化された。開通してからは多数の人々がこの橋を利用している。

■景観の見方（主な視点場）

飯の山展望台からは橋の全景を、橋のたもとからは強くそびえ立つ橋脚と緩やかに湾曲した橋梁を眺めることができる。また、橋の歩道からは、眼下に渦潮の激流を眺めることができる。



所在地：周防大島町小松
 アクセス ●電車：JR山陽本線大島駅～車で約5分
 ●車：山陽自動車道玖珂ICから約30分



■景観の特徴、地域特性

集落の至る所に、海で拾い集めた丸い石を積み、土で固め、白漆喰で押さえた壁が連なる路地が見られる。路地の両側には古いまちなみが形成されており、練塀の表情も様々である。



■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

祝島は、昔から冬季の季節風と強い台風の影響で、家の周りに独特の石積みの練塀を造って風を防いでいる。海岸沿いの家では、軒より高い練塀も見られる。

■景観の見方（主な視点場）

練塀を見ながら迷路のような路地を散策すると心地よい。また、路地の向こうに美しい青い海を見ることができる。



アクセス

所在地：上関町祝島

- 船：柳井港から渡船「いわい」で約90分、上関港または室津港から渡船「いわい」で約35分



■景観の特徴、地域特性

大星山は室津半島の中央に位置する標高438mの山である。山頂にある展望台からは平生町はもとより、瀬戸内海が一望でき、天気の良い日には遠く九州や四国まで見渡すことができる。

■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

大星山は、約1200万年前の瀬戸内海火山帯の活動により誕生したといわれている。近年、山頂付近にタワーの高さが約65mある風力発電が設置され、平生町のランドマークとなっている。

■景観の見方（主な視点場）

瀬戸内の島々の眺めは、展望台だけでなく、室積半島スカイラインのドライブでも楽しむことができる。



所在地：平生町佐賀 大星山展望台

アクセス

●電車：JR山陽本線柳井駅～車で約30分

●車：山陽自動車道玖珂ICから約50分